



学友会に求められることとは

大橋 良一



何事も変わりのみゆく世の中に同じ影にてすめる月かな

西行

貴族社会から武家社会へ、政治は朝廷から幕府へ、全てのものが変わっていく動乱の世にあって、太古から不変の光を放つ月をしみじみと羨ましく感じて、西行が詠んだものです。

西行が生きた時代ほどではないにしても、今、日本は不確実な中にあります。震災からの復興、原発事故の収束、経済の再生、社会保障の安定、外交交渉などの重大な問題に対して、遅々として進まぬ国の対応に国民も苛立ちと焦燥感に駆られています。本当に考え、取り組んでもらい

たいことがあたかも二の次になってしまったり、結実せず立ち消えてしまったり、それは非常にさびしいことでもあります。しかし見方を変えれば、国民が、国や政府といった一部の人たちに、日本の大事をそっくり預けてしまつてはいないでしょうか。私はそういうことは、あつてはならないと思います。会員の皆様の中にも、おそらく同様のことを感じておられる方が少なくないのではないかと思います。不動岡高校は、「質実剛健」「文武両道」の校訓と伝統を継承しつつ、セメスター制の導入や、スーパーサイエンスハイスクールの指定など、時代を読んだ革新的、戦略的な教育システムを取り入れ、生徒一人ひとりの「個」を重視し、常に向上心を持てる教育体制が準備されています。

思いを新たに不動心
校長 門谷修二郎

皆様の母校不動岡高校は、県下屈指の恵まれた環境の中で「不易と流行」の教育を目指して百二十七年目を迎えました。誠実で真面目、心身ともに強く逞しくという「質実剛健」と部活動は人をつくり、学業は道を拓くという「文武両道」の精神は、本校の揺るがざる伝統であり、まさに「不易」であります。本校が、本県唯一の教育システムであるセメスター制（前期と後期の二学期制で、学期毎に単位を認定を行い、三年次の前期までに高等学校の卒業に必要な教科科目



のほとんどを修得して、三年次の後期では、大学受験のための演習中心の授業を実施するという独自の教育課程」を導入して、五年が経過し、セメスター制による卒業生を三回送り出しました。三月の卒業生は、現役で七六人が国公立大学に合格しました。浪人を含めると九四人になります。これは、本校が十学級から九学級になってから最高ということですが、いよいよセメスター制の成果が問われることとなりますが、悲願の国公立大三桁まであと一息のところまでできました。さらなる飛躍を目指してまいります。また、文科省指定のスーパーサイエンススクール事業（SSH）も二年目を迎え、課題学習と発表による授業、大学や研究機関の先生を迎えての講義、希望者による実験やフィールドワーク、大学、研究施設の見学など、新たなプログラム開発に取り組んでいます。運動部では、陸上競技部（棒高跳）の関東大会出場、ラグビー部の久々の県ベスト8など健闘しています。また、六月には、三年生の金澤日菜子さんが、中国古武術のカンフー日本一に輝きました。文化部では、新聞部、箏曲部が県トップレベルの成績で、全国高校総合文化祭に出場しました。五月に行われた文化祭では、六〇〇〇人を超える過去最高の来校者があり、元気はつらつとした不動岡生の活動が、地域のビッグイベントとしての役割を果たしています。さて、元学友会副会長の十善病院院長湯橋十善先生は、刀剣を趣味とされています。かねがね母校のために一つ彫っていたのだと

発行所
埼玉県立不動岡高等学校
学友会
加須市不動岡1-7-45
電話 0480 (61) 0140

学友の集い(学友会総会)にぜひ参加ください

恒例の学友の集いを左記のとおり開催いたします。新しく生まれ変わった母校を、ご自身の目でご覧頂きつつ、旧交を暖めて頂ければ幸いです。お誘い合わせのうえぜひご参加ください。

日 時
平成二十四年
十一月二十五日(日)
午前10時30分より

会 場
埼玉県立不動岡高等学校
不動岡ホール

総会議事
①平成23年度会務報告
②平成23年度会計報告
③慶祝者表彰
④その他

本校応援部による演舞
懇親会
不動岡百周年記念館にて
懇親会費
三,〇〇〇円
(当日受付でいただきます)
お問い合わせは
☎〇四八〇上六一〇一四〇まで

お願いをしていたところ、この春、百二十四回卒業生のためにという事で、百二十四の光り輝く勾玉を周囲に巡らした見事な「不動心」の木彫を寄贈いただきました。勾玉のように磨き上げた心は、まさに何ものにも揺るがない「不動の心」であります。伝統を引き継ぎ、さらなる一歩を重ねようと新たな思いを胸に抱きます。皆様には、変わらぬ御支援、御鞭撻をお願い申し上げます。

同窓会報告

五十五歳の集い (88回生)

風薫る五月五日、不動岡高校百年記念会館に於いて第八十八回卒業生の同窓会を行いました。この同窓会は「第八十八回卒業生が五十五歳になる今年の五月五日に同窓会をしよう」という趣旨のもと計画されたものでした。

当日は、ちょっと老けたかな？でもまだまだ若くて美しい、心は少年少女の百四十五名の卒業生と先生方七名、総勢百五十二名のご参加を頂き盛大に執り行う事が出来ました。

ご参加頂いた皆さんは、飲食を忘れて、卒業してから今までの生き方や今後の夢を語りながら楽しい時間を過ごしていました。宴中には高校時代からバンドを組んでいた「スターダストレビュー」の根本要君と柿沼清史君の歌も加わり同窓会は最高潮に達しました。



最後は全員で校歌を斉唱し閉会しました。卒業して三十七年ぶりに行った同窓会はとても有意義で人生の大切な

ページとなりました。最後に同窓会を開催するに当たり種々ご配慮を頂いた皆様方に感謝申し上げ同窓会の御報告とさせていただきます。

山口 眞司

不動岡愛

(91回生)

なつかしい顔に出会い、つい当時の呼び名で友を呼んでいた。呼び名は出るものの受付にすわっている私は、受付名簿が現在の名で記されているため、出席確認に手間取ってしまう。

七月十五日に不動岡高等学校生徒ホールにて、第九十一回卒業生同窓会が行われた。第一回を平成十一年、第二回を平成十五年に実施して以来九年もの歳月が流れていた。総勢約百四十人が集い、クラス毎にテーブルに着き、恩師を囲んでおしゃべりに花を咲かせていた。



当日、ご旅行中の先生がご欠席だったが、他八名の先生方は、全員お元気でご出席くださいました。嬉しいばかりである。皆さんご退職されていますが、なおも教壇に立

たれている先生もいらした。時間が経つのも忘れ、高校時代の話や現在の仕事や家庭の話と話題は尽きない。

いよいよ閉会の時間。校歌の前奏が流れてきた。忘れてしまっていた歌えなかつたが、口をついて歌詞が出てきて高校時代の体育祭や野球の応援が思い出されてきた。ここに集まった皆さんは、今でも不動岡高校を愛しているのだろう。次回いつ会えるのか楽しみである。

熊田まゆみ

不動岡高校と私たちが学んだ時代 (73回生)

社会が日米安保条約の批准で騒然となった時代に私たちは受験期を迎え、ある日、社会科の角田先生が校内放送を通じ、全校生徒に安保条約とは何か、その結果、社会はどう変わるのか、そして、不動岡校生としてどうあるべきかそんな講話を聴かされました。

国会周辺は100万人のデモであふれ、学者、大学生はもとより、エプロンをかいたおばさんまでもデモに参加したのです。岸内閣は野党欠席のまま、強行採決をして、安保は批准されたのです。その結果、日本は高度経済成長を遂げたのでした。

当時全学連の下部組織に全高連が組織され川越高校が急進的で、不高の生徒会にも呼掛けがありましたが、不高は当時保守を堅持し



ておりましたので参加しませんでした。そんな時代の中で、学生時代を送った私たちが今回、古希の祝いもかねて、母校不動岡での第8回同窓会を開催させていただきました。母校が素晴らしい校舎に変貌したことに驚いております。

また、日曜にもかかわらず、朝からクラブ活動に励んでおられる生徒の姿を拝見させていただきました。質実剛健・明朗質素の校風が、今も脈々と受け継がれていることに、誇りと驚きを覚えました。

また、廊下ですれ違う生徒全員に会釈され、我々が、あわてて会釈するありさまでした。素晴らしい後輩が育っていることに、先輩として、改めて誇りを感じました。今回の母校での第8回同窓会は32年の長きにわたって開催された同窓会の中で最も心に残る同窓会でありました。

暖かい先生たちのご指導、ご準備、そして、後輩たちの素晴らしい規範に心温まる一日を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。

会長 扇谷 芳雄

平成24年度 慶祝者名一覽 (敬称略)

64	三須 徳雄	旭日双光章
67	藤澤 格	瑞宝双光章
72	山根 和夫	瑞宝双光章
73	森 博	瑞宝双光章
83	高沢 清史	埼玉県企業局長
85	坪井 敏衛	上尾橋高校校長
85	宇津木勝広	越谷市立川柳小学校長
85	小倉 敬翁	小倉 敬翁
85	埼玉県加須農林振興センター所長	江原 洋一
85	埼玉県下水道公社常務理事	岡 尚省
85	東京慈恵会医科大学教授	齊藤 修一
86	産業労働部雇用労働局長	中野 晃
86	企画財政部参事兼副部長	岡野 行男
86	皆野高等学校校長	荒木 文郎
86	蓮田市立黒浜西小学校校長	吉野 道博
86	行田市立見沼中学校校長	小嶋 一男
86	埼玉県川越県土整備事務所長	森田 典正
86	早稲田大学国際教養学部部長	秋山 幸男
87	総務部契約局長	八木橋 勉
88	蓮田松韻高校校長	帯津 嘉二
89	久喜市立栢間小学校校長	上野 明
89	上尾市立西小学校校長	田村 宜也
89	加須市立田ヶ谷小学校校長	鈴木 寿一
90	春日部市立中野中学校校長	矢鳥 泰
91	小鹿野町立若宮中学校校長	清野 定信
92	春日部市立豊野中学校校長	岡田 英行
92	鴻巣市立赤見台中学校校長	小野田 誠
93	行田市立桜ヶ丘小学校校長	荻原 章
94	行田市立南河原小学校校長	田中 岩雄

二〇一二年度の入試結果

平成23年度卒業生の進路状況は、四年制大学への進学者二八二名、短期大学進学者二名、専門学校進学者三名、就職者一名、進学準備七八名であった。

二〇一二年度入試の特徴は、①センター試験平均点の上昇、②極端な強気出願はみられず手堅い出願、③国公立大後期日程廃止が進み後期出願者が減少、④文

低理高・資格系人気の継続の四点をあげることができ

本校の入試結果では、国公立大学合格者が22名増加し94名になり、現役合格者数も18名増加し76名になったことが大きな成果であった。国公立大合格者が90名を超えるのは117回生以来のこと、現役の国公立大合格者数76名は108回生の78名に次ぐ合格者数であった。

難関大学では、東北大学1名(うち現役1名)、東京工業大学1名、東京外国語大学5名(現役4)、大阪大学1名、北海道大学1名、群馬大学医学部医学科1名が合格した。

首都圏の大学では、埼玉大学22名(現役20名)、筑波大学7名(現役7)、千葉大学3名(現役3)、東京学芸大学8名(現役6)、首都大学東京3名(現役2)、埼玉県立大学9名(現役8)、宇都宮大学14名(現役11)など合格者を出した。

私立大学では、早稲田大学20名(うち現役17)、慶応大学3名(現役1)、上智大学11名(現役11)、東京理科大学37名(現役30)、立教大学45名(現役39)、明治大学45名(現役39)、法政大学51名(現役40)、日本大学54名(現役40)、東洋大学62名(現役51)、芝浦工業大学31名(現役23)など多くの合格者を出し、延べ896名が合格した。

不動岡高校では、授業の充実をめるとともに、早朝・放課後課外補習、長期休業中の課外補習等の受験指導体制を整え、生徒の学力向上をはかり、現役で第一志望の大学に合格できるよう頑張っています。どうぞご支援のほどよろしくお願いたします。

進路指導部 齋藤 勤

過去3年間の合格者数(現浪計、私立大学は延べ人数)

Table with 4 columns: 大学名, 2010年度, 2011年度, 2012年度. Lists various universities and their admission numbers over three years.

Table with 4 columns: 大学名, 2010年度, 2011年度, 2012年度. Lists various private universities and their admission numbers over three years.

Table for staff changes (転入). Columns: 職名, 氏名, 教科, 前任校(前勤務先).

Table for staff changes (転出・退職). Columns: 職名, 氏名, 教科, 転出先.

人事異動

現在の不動岡高校

改装されたAVホール

不動岡高校外国語棟の一面に「AVホール」と呼ばれる部屋があります。普通教室の二倍弱の面積があり、ビデオや音響設備を備えた教室です。長年にわたり主に外国語科の専門教育やスピーチ、英語劇その他の指導に重要な役割を果たしてきましたが、設備の老朽化により、近年利用率がやや低下していました。

そこで本年度、ガスによる空調設備、そして新しい机と椅子の導入が行われ、大幅な環境改善が図られました。特に机・椅子の更新は学友会の協力によるもので、可動式のもの22人分を含み、最大80人まで収容できるものです。これにより授業形態も、デイスカッション型から大人数の講義形式まで柔軟に対応できるようになりました。今後は、外国語科の授業ばかりでなく、他

教科の授業や補習、自習室としても活用され、本校の教育活動の充実に大きく貢献することが期待されます。



外国語科主任 利根川 哲

キンガロイ高校との交流

6月23日(土)・夜8時、キンガロイ高校24名の生徒と3名の職員が成田空港に到着した。パリン校長先生、ロイド先生、そしてミーガン先生と固い再会の握手を交わした。キンガロイ高校生徒の表情には多少の緊張が伺えた。私の指示そして誘導にも機敏に動いてくれた。

「16年にもわたる両校の関係も、今回の第3回姉妹校更新を迎え、さらに強いものに発展させていきたい。」パリン校長の強い握手そして視線にそれを感じた。私も軽い緊張感を覚えた。

キンガロイ高校職員の歓迎食事に、なんと第1回目(1996年度)の交流事業参加者(2名)とその父兄が飛入りで参加した。「パリン校長先生にどうしてもお会いしたい」とのことであった。

長い年月を越えて、不動岡高校の卒業生を宴会にまで惹きつけるパリン校長先生の魅力もさることながら、この交流事業の深さをも感じさせる一コマであった。

宴の最後にみんなで円陣を組み、キンガロイ高校そして不動岡高校の両校歌を歌って締めくくった。パリン校長が最後に語った。「私たちは、スピリットでつながっている。損得を越えたこの強いスピリットを、これからも、両校の若者達が、そして若い職員達がさらに引き継ぎ、成長させていってほしい。」

北半球・南半球に分かれた遠い学校同士のこの友情は、まさに奇跡である。百年でも2百年でも続いていって欲しい。若い職員と生徒達の手にこの奇跡を委ねたい。

裾野広がるSSH

SSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)に指定されて2年目で、ユニット授業やSSC(スーパー・サイエンス・クラブ)を中心に展開しようというのが本校の特徴です。「事実」から「気づき」そして「探究」へをテーマに、科学的素養を身につけさせ、持続可能な社会の創造・発展に貢献する力を育てることが目標です。併せて、SSHを実施しての生徒の変容を見るには、どのような評価法が有効かの研究もしています。

今年度実施している事業をいくつか紹介します。「はかる」をテーマにした課題研究(物理ユニット)、クロインニンジン作りやブタの解剖などの実習(生物ユ)、化学実習講座(化学ユ)、伊豆大島フィールドワーク(生物・地学ユ)など。理数

以外の教科も含め、裾野が広い事業になつており、近年求められている文理融合の理念が体現されています。



渡邊 文彌

全国高文祭 九年連続出場

第36回全国総文祭は富山県での開催、新聞部門は高岡市のウイングウイング高岡を会場に八月八日から十日にかけて行われました。新聞部は今年度も全国高校新聞年間紙面審査で、全国二十校に選ばれたの出場です。

3日間で、各校活動報告、新聞作成研修会、年間紙面審査賞の発表が行われました。その中で不動岡高校は、「優秀賞」をいただきました。今年三回発行の「不動岡高校新聞」と年二十回程度発行のカラー速報版校内新聞「ぼくら」の作成を軸に、また1年間しつかり活動して行うと部員共々身を引き締めた全国高文祭でした。顧問 石川 憲司

箏曲部・全国高総文祭 参加報告

八月九日から十一日まで、富山県で開催された第三十六回全国高総文祭に、三年生八名、二年生十名で参加してまいりました。演奏した楽曲は、昨年度県邦楽祭で銀賞をいただいた「迦樓羅」。

生徒は、大きな舞台に臨ぶこともなく、埼玉県代表の名に恥じない、色彩豊かな見事な演奏を行うことができました。

残念ながら上位八校までに入賞することはできませんでしたが、全国のハイレベルな演奏の鑑賞や、地元・富山県を初めとする他県の生徒との交流など、生徒にとって非常に大きな経験になりました。

顧問 松本 直樹

関東高校陸上選手権大会

六月十五日から群馬県前橋市で開催された関東高校陸上競技選手権大会に長利勇希(二年)が棒高跳に出場しました。昨年度に引き続き二年連続の出場で、六位以内入賞、全国大会出場権獲得を目標に出場しました。結果は、残念ながら四m四〇で十位に終わりました。本人の力を考えると、納得のいく結果ではありませんが、この経験を今後にかかしていつてほしいと思います。

今後は日本ジュニア選手権に倉持美喜(三年)が棒高跳に出場予定です。今後ご理解とご支援の程よろしくお願い致します。

顧問 小堀 泰代
倉科 淳

スピーチコンテスト出場

昨年行われた高英研主催の英語弁論大会の関東大会、今年7月に行われた国際研主催の英語弁論大会の関東甲信越大会へ出場しました。英語スピーチを作成する過程を通して、物事を深く考えるようになり、自分自身の成長を感じています。この2つの大会に出場出来たことは、とても良い経験になりました。これからもクラスのみならず切磋琢磨しお互いに高めあつていきたいと思っています。

ご指導くださいました先生方、練習につきあってくれた家族や友達に感謝したいと思います。本当にありがとうございます。

二年外国語科 高根萌江子